

CHOOSE YOUR SCALE #01

どのスケールで、自分の未来を設計しますか？



愛知淑徳大学 建築学部

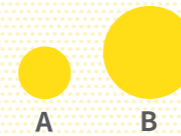
SCALE=01
 ASU建築学部*の入口から出口
 建築学部*入門！ベーシックデザイン演習
 ※2025年4月開設予定。(仮称・届出中)

00 ついに第一号発行！ CHOOSE YOUR SCALE はじまります

みなさんこんにちは！
 わたしは、本学部の卒業生でグラフィックデザインの道に進んだ者です。
 ひょんなことに ASU 建築学部*のフリーペーパーを作ることになりました。

はじまりは、「本学部をもっと盛り上げたい」、「建築やデザインのハードルを下げたい」、「もっと面白くなって欲しいよね」と、本学の先生たちと話したことがきっかけです。

さて、みなさんに問題です。
 右図のAとBは、それぞれ大きいですか？近いですか？



答えは、「どのスケールでみるかで変わります。」
 建築の世界には、スケール(ものさし)という用語があり、
 スケールの違いによってさまざまな答えが成り立つんです！

物事は、どのような視点で捉えるのか、スケールを正しく捉えることが重要です。
 これは、何かを選択するときも同じように言えるのではないのでしょうか？
 例えば、進路選択や就職活動という場面でも、
 「地域」、「社会」、「世界」... どのスケールに自分を置くかで選ぶものは変わります。

どのスケールで、何を基準に、その選択をするか。
 「このスケールでこれを選ぶ！」と胸を張って言うるように、
 本誌のタイトルを「CHOOSE YOUR SCALE」と名付けました。

このフリーペーパーが、建築やデザインが面白いなと思ったり、この学部にいることに
 誇りを持ってもらえたり、数ある建築の大学の中で愛知淑徳大学建築学部*を選ぶ
 きっかけになってもらえたら嬉しいです。

さあ、個性豊かな先生や仲間たちと一緒に、自分の未来の「設計」を始めましょう！

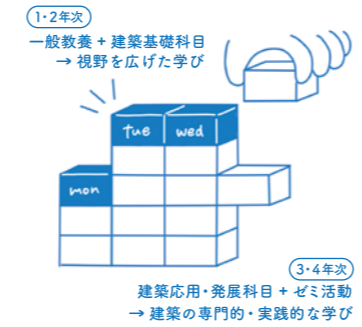


※2025年4月開設予定。(仮称・届出中)

01 未来の設計はここからはじまる！ ASUアーキで過ごす4年間 建築学部*の入口から出口

ASUの建築学部*だからこそ実現できる！
 2専攻の垣根をこえた、流動的な学び

「建築・まちづくり分野」と「住居・インテリアデザイン分野」という
 スケールの異なる領域を自由に選択し、横断的に学修できるのが、本学部の特色。
 自身の専攻とは異なる科目も履修が可能だから、新しい挑戦がいつでもできる！



- 履修計画 / 時間づくり
 本学部の時間割は、必修科目を除き、基本は自身の関心や将来の目標、資格取得に向けて、自分で履修する科目を選んでいきます。
 ▶専攻を問わず、どの科目も履修可能！
- 入学式
 本学部での4年間の生活がスタート！

入 ENTER

- 専門教育科目
 建築学部*の科目のこと
- イベントなど
 --- 関連記事を繋いでいます

授業内容を解説→裏面へGO! /

- ベーシックデザイン演習
 1年次 前期
 他大学にはない、ASUならではのカリキュラムのひとつ！本学部は、1年次前期から本格的なもののづくりがスタートします。身の回りにある家具や空間を視察し、自分が心地よいと感じるものは何かを探し、ものの設計を通して、身体的スケールを身につけます。
- ゼミナール活動
 3~4年次
 本学部のゼミナールは、1,2年次の学びを深め、より実践的な活動を行います。ゼミナールは、その後の活動や卒業プロジェクトで支えとなる先生や仲間、先輩、後輩と出会う大切な場所です。
- ゼミナール選び
 2年次後期には、3年次から活動を開始するゼミナール選びが始まります！自分の関心のある事柄や、雰囲気合うゼミを選びましょう。
- レクチャー
 年に数回、建築家の講演会が開催されます。本学部の生徒は学年問わず無料で参加可！
- インテリアデザイン演習
 1年次 後期
 真っ白な、空のケーキ箱を6畳程度の部屋の一室と見立て、家具や床の素材、壁紙などを決めコーディネートします。縮尺を調整しながら様々な材料を駆使し、模型を完成させます。

1 建築を知る

- 建築設計 I~V
 2~4年次
 事例研究をふまえ、周辺環境を読み取り、日常生活に関わる空間を構想し、設計に取り組みます。図面、模型、CGパス、プレゼンテーションなど、様々な「表現する能力」を身につけます。
- デザインワークショップ
 3年次 前期
 他大学にはない、本学部ならではのスーパーカリキュラム！日本を代表する著名な建築家とコラボレーションし、学生が主体となって展示会の会場設計から施工、広報、会期中の運営までを行います。

2 知識を活用

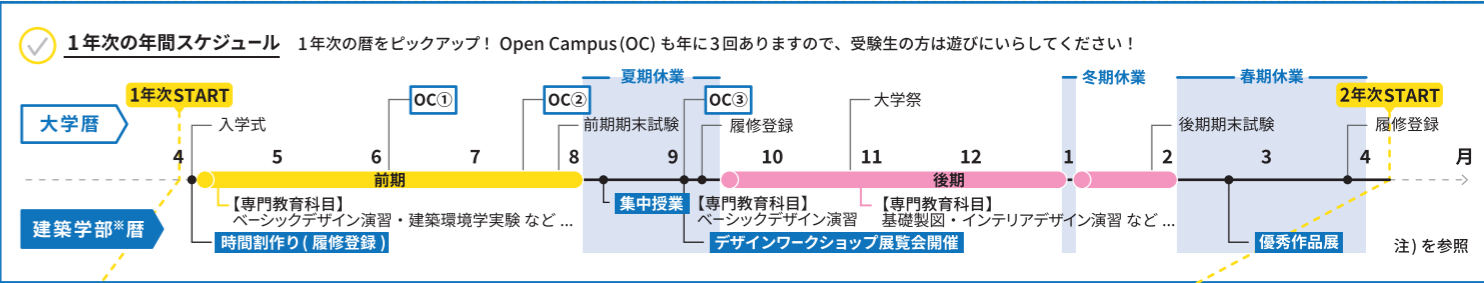
- まちづくり演習 A/B
 3年次 後期
 まちづくりのテーマに沿って、街の活性化に向けたコンセプトを作成し、提案内容を考えます。取り組みに必要な設えや仕組みを設計し、プレゼンテーションまで行います。
- インターン / 就職活動
 3年次の後期から、本格的に就職活動はスタートします。夏の長期休暇を利用して、設計事務所にインターンシップに行く学生も◎

3 実践と応用

- 卒業制作展開催
 大学4年間の集大成のお披露目の場！学内講演会を経て、優秀な作品は、学外の作品展に出展されます。
- 卒業プロジェクト
 4年次 前・後期
 4年間の集大成として卒業設計・卒業論文・卒業制作のいずれか1つに取り組みます。本学部では各専門領域を軸としつつも、各人が自らテーマを設定し構想を練り、自身にあった学びを深めることができます。

4 卒業プロジェクトへ

- 卒業式
 修了証書授与！新生活のスタート！



2025年度に新しく追加されます！ /

- デザインワークショップ展覧会
 毎年9月、長久手キャンパス8号棟5階で、建築とインテリアデザインの専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間」で開催された展示会の愛知巡回展や、オリジナルの展示会を開催！！
- 学部内アルバイトもあります！ /
 # 不定期募集 # 友達と一緒に # 登校ついでに # お小遣い稼ぎにも # 短時間バイト # お弁当付きも! ?
 本学部では、オープンキャンパスの案内スタッフや、展示会の受付係、清掃スタッフなど、年に数回ほどアルバイトの募集がかかります。「大学に行くついでに友達」という方や、「隙間時間をうまく利用したい」という方にオススメです！

出 EXIT

- 卒業制作展開催
 大学4年間の集大成のお披露目の場！学内講演会を経て、優秀な作品は、学外の作品展に出展されます。
- 卒業プロジェクト
 4年次 前・後期
 4年間の集大成として卒業設計・卒業論文・卒業制作のいずれか1つに取り組みます。本学部では各専門領域を軸としつつも、各人が自らテーマを設定し構想を練り、自身にあった学びを深めることができます。

卒業プロジェクトへ

※2025年4月開設予定。(仮称・届出中)

注) 内容等は、変更となる場合がございます。 ※2025年4月開設予定。(仮称・届出中)

02 建築学部* 1年次前期科目 ベーシックデザイン演習

身体的スケールを理解する スケールを捉えた創造をする

そもそも、「ベーシックデザイン演習」って何？



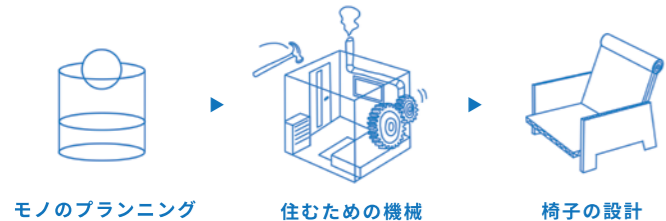
イメージを図に描き、スケールを捉えて想像することは建築・インテリアに関わる必要な能力です。この授業では、私たちの身の回りにある家具や空間をよく観察することからはじめ、その寸法を自ら測り、ものの制作や模型制作を通じて模型技術の能力を高めると共に、身体的スケールを理解します。

「ベーシックデザイン演習」ではどんなことができるの？



建築・インテリアデザインの世界では、プランを考え、設計図面や建築模型、3Dモデルなど、様々な手法を用いてイメージを形に再現し、制作物を用いて自分の言葉で提案します。ここでは、デザインの基礎となるスケール感の捉え方と模型制作の能力を学ぶと共に、アイデアや再現したデザインをプレゼンテーションで提案できる能力を身につけていきます。

「ベーシックデザイン演習」はどのように進んでいくの？



本カリキュラムでは、前期の全15回の授業をかけて3つの課題に取り組みます。どの課題も、身の回りのモノの観察や寸法を測ることから始まり、自分が心地よいと感じるものは何かを探します。その後、課題に合わせて模型を制作したり、スケッチをし、想像します。毎週担当教員とエスキス(相談会)を行い、プレゼンテーションの日までに作品を仕上げます。

ベーシックデザイン演習は、本学オリジナルカリキュラムの1つ。ほとんどの学生が1年次に履修を選択する、建築学部*入門授業です！仲間と一緒に、建築やインテリアデザインに関わる能力を磨きましょう！

第3課題「椅子の設計」を詳しく見てみよう！

最終課題はグループ課題。仲間と一緒にアイデアを出し合います。グループで1つの椅子を「ダンボールと木工用ボンド」だけで作り上げます。

01:02 モノの観察 / 心地よさを見つける

身の回りの寸法を測り、スケール感を身につける



本課題も、まずは普段何気なく使っている椅子を観察するところから始まります。座面やアーム、背もたれの高さはどれくらいが心地よいか、どのシチュエーションなら肘掛けがあった方が良さか...など、役割と寸法の調査を行います。

03:04 アイデアを想像する / 模型・スケッチでスタディ

アイデアをスケッチや模型でスタディしてみる



グループの仲間と、椅子を使うシチュエーションや、デザインのアイデアを出し合い、スケッチや模型を作成し、スタディを行います。スタディでは、スチールボードを用いた縮尺の小さい模型から、ダンボールを用いた実寸に近い模型まで、様々なスケールでデザインの検討を重ねます。

05 エスキス

建築家の先生たちに相談し、アイデアを膨らませる



毎週の授業日には、担当教員とエスキスと呼ばれる相談会を行います。授業日までにグループ内でスケッチや、様々なスケールの模型を制作し、それを元に教員と話をしながらデザインの質を高めていきます。

06 制作する

材料の特性を生かし、アイデアを形にする



最終週に行われる講評会に向け、ダンボール椅子を作り上げます。仲間と協力しあいながら、椅子のコンセプトやスケッチ、図面などをまとめ上げ、わかりやすく、美しいプレゼンテーションパネルも制作します。

07 プレゼンテーション・講評会

どのように伝えるか考え表現し、仲間の作品をみる



プレゼンテーションでは、コンセプトやアイデアを短い時間でいかに端的に説明できるかが重要です。講評会は、他グループが作成した椅子に座ってみたり、担当教員以外の方からもアドバイスが頂ける絶好のチャンスです。

制作ギャラリー

学生がデザインし、ダンボールで作成した椅子です！



最終課題では、スケール感や、模型・制作物の制作技術だけでなく、今後の建築・インテリアデザイン活動でも必要となる、協調性やリーダーシップ、課題解決力などの能力を身につけることを目指します。

Why do you choose?

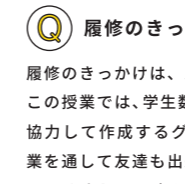
履修生に、ベーシックデザイン演習について聞いてみました



2年生 齊藤 夢叶さん

Q 履修のきっかけと、感想を教えてください！

カリキュラムの授業計画に、エスキスやプレゼンテーションがあると記載されており、率直に「楽しそう！」と感じたことが、履修を決めたきっかけです。エスキスでアイデアを先生に伝え、「もっとこうの方がいいんじゃないかな」というアドバイスを頂き、エスキスを繰り返すうちに、自分の作品がどんどん良くなっていくことがとても楽しかったです。達成感もあり、自分に自信がついたと思います。



2年生 岡田 琉聖さん

Q 履修のきっかけと、感想を教えてください！

履修のきっかけは、友人からの勧めです。この授業では、学生数人と先生とで行うエスキスや、1つの作品を協力して作成するグループ課題があるとのことだったので、「授業を通して友達も出来たらなあ」なんてことを考えていました。はじめましての人と協力して制作したり、授業外の時間に一緒に制作する時間を重ねたことで、仲が深まったと思います。1年次前期にして大満足な授業でした！



3年生 杉山 凌健さん

Q グループ課題「椅子の制作」はいかがでしたか？

グループ内で新しいアイデアをたくさん出し合うと、自分が考えていたものとは全く異なる意見もあったりと、違う視点での意見を聞くことができるのはとても新鮮で、楽しかったです。この授業のおかげで、今後必要となる、「自分の考えやアイデアを人に伝える力」が身についたかと思います。個人課題が2つに、グループ課題が1つのカリキュラムでしたが、個人的にはグループ課題が多い方がよかったです！

Q オリジナル課題はいかがでしたか？

最初は、何から手をつければ良いかわからないことに加え、課題提出期間も短く大変だと思っていましたが、おかげで、クオリティの高い作品を短期間で仕上げる力が1年次に身についたと思います。唯一のグループ課題「椅子の制作」は、1つのものをグループで制作する大変さを痛感しました。もっと色々な子と意見交換をし、仲良くなりながら制作できるグループワークに取り組みたいです。



2年生 齊藤 夢叶さん

特集 本学部卒業生の”おもしろい今”を紹介

Where are they now?



渡邊 莉奈さん
2018年度卒業
就職先 (株)オンデザインパートナーズ
職業 建築意匠設計・まちづくり
出身地〜現在 愛知 ▶ ASU ▶ 横浜



▲現場にて、お仕事のお写真設計監理まで務める渡邊さんは、本当にかっこいいです！

本学部への進学理由を教えてください。

小さい頃から住宅紹介のTV番組や不動産チラシの間取り図を夢中で見ていたり、工作などのものづくりが好きだったこともあり、建築の仕事に憧れて、建築士資格取得のためのカリキュラムがある本学部への進学を選びました。

現在の活動を教えてください。

横浜の建築設計事務所で、戸建て住宅や集合住宅の設計、横浜駅でのまちづくり業務を主に行っています。メインの担当は、コーポラティブハウスという、複数のお客様が集まって共同でつくる集合住宅の設計です。学生時から興味があったシェア空間の設計ができていたり、日々経験を積みながらとても充実して仕事をしています！

ASUの建築で良かったことは？

やはり3年次のデザインワークショップの授業があることだと思います。私は会場設計や全体を見る役割を担当し、一つの展示を作り上げるのに、施工班やサイン班など様々なチームとの検討を行いました。全体を把握しながら設計監理をすることが建築家の仕事でもあり、この時の経験は今の日々の仕事にも通じているところだなと思います。

→ 今後も卒業生の今を掲載予定！

ABOUT CHOOSE YOUR SCALE とは？

「CHOOSE YOUR SCALE」は、愛知淑徳大学建築学部*が独自に、企画・取材・編集・制作しているフリーペーパーです。はじめは、「愛知淑徳大学の建築学部*をもっと盛り上げたい!」、「建築やデザインを感じるハードルを下げたい!」との気持ちから。ホームページではお伝えしきれない、本学部の他にはない魅力や活動を、建築学部*の先生や在学生のリアルな目線で、様々な事柄にスケールを置き、楽しくお伝えすることを目指しています。次回もお楽しみに！

CHOOSE YOUR SCALE SCALE=01

発行日 | 2024年6月9日

発行 | 愛知淑徳大学 建築学部*
建築・まちづくり専攻 / 住居・インテリアデザイン専攻
長久手キャンパス
〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9
(0561) 62-4111 (代表)



*2025年4月に創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻を改組し、建築学部 建築学科を開設予定(仮称・届出中)。また、記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

入試・イベント情報はこちらから



大学公式サイト 学部公式サイト

本冊子の図版及び文章の無断転載を禁じます。

注) 内容は、創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻時のものです。内容等は、変更となる場合がございます。 ※ 2025年4月開設予定。(仮称・届出中)